

課 別 題	新規 継続	継続	経常・特別別	経常	担 当	開 発 箇 所	大根と (辺塚)	期 間 昭和 6 / 年度 — 昭和 70 年度	予 算 科 目	技 術 開 発	経 費	品 名	数 量	単 価	金 額
			目標との関連	ノ - ア							物 件 費	調 査 用 品	/	円	千 円
						造林課					役 務 費	現 像、その他			
											人 件 費	(基 礎) 時	( )		( )
											計	—			( )
目 的		広葉樹天然林の低質広葉樹の伐採方法を究明し、有用広葉樹(タブシイ等)を主体とする天然更新技術の開発をはかる。													
全 体 計 画		実 施 経 過		当 年 度 分											
				実 施 計 画			実 施 結 果			評 価 お よ び 普 及 計 画					
1. 試験地設定 2. 伐採、搬出状況調査 3. 保残立木の調査 4. 保残数量、伐採方法の適否調査 5. 更新稚樹の生育調査 6. 有用樹の 7. 有用樹の保育方法調査 8. 昭和70年度までとし継続等については、その事実を検討する。				1. 試験地設定 2. 伐採、搬出状況調査			1. 試験地設定 昭和61年7月 列紙実測図位置図のとおり現地設定した。 2. 試験地内 立木販売 昭和61年11月 1. 試験地 伐採搬出方法説明、指導 2. 伐採、搬出状況調査 ア. 採伐区域内で伐倒木周囲に一部立木に対する損傷被害が見られるも、ほぼ計画とおり作業が進められている。 イ. 列状伐区のみ伐採搬出は計画とおり実行中であり特に被害等の発生は見られない。								

## II 大根立管林帯

### 1. 試験地設定

- (1) 場所 洞河原園林 112 左 林帯  
 (2) 面積 240 坪

(3) 伐区	対照区	1 伐区	0.52 坪
	列状伐採区	2 伐区	0.27 坪
	列状併残区	3 "	0.25 坪
	列状併採区	4 "	0.22 坪
	列状併残区	5 "	0.16 坪
	器伐区	6 "	0.50 坪
	根伐区	7 "	0.52 坪
	計		244 坪

図-1 試験地位置図

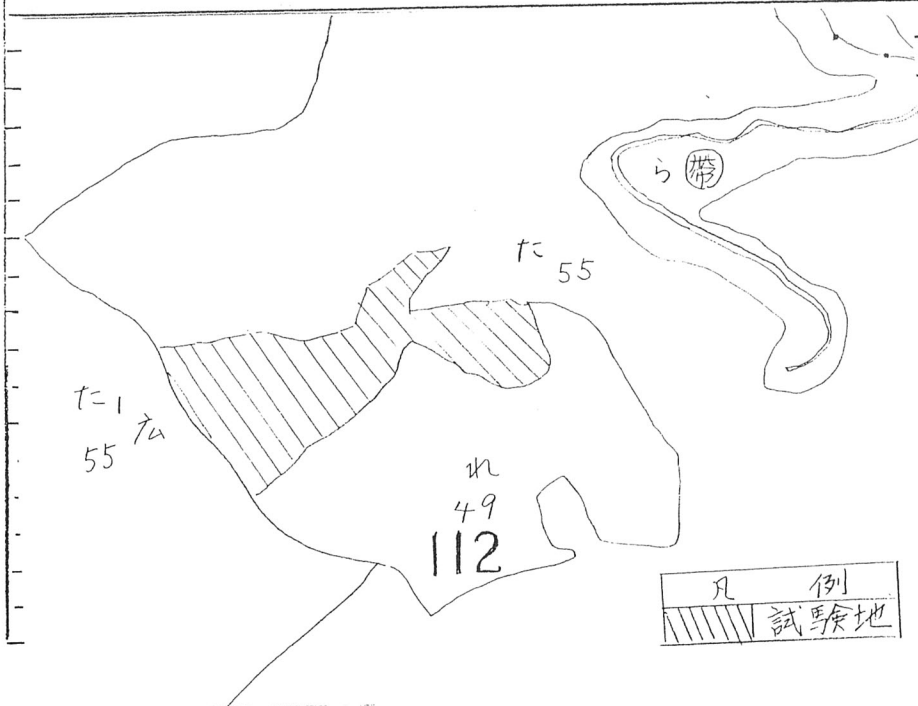
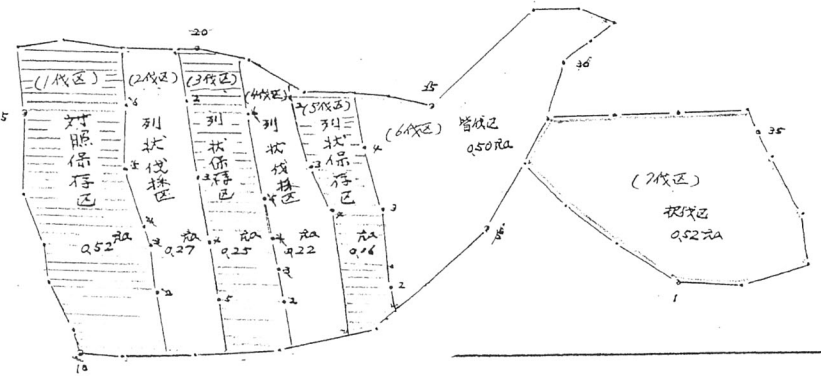


図-2 試験地設定図



### 2. 伐採抽出状況調査

#### (1) 表-1 伐採抽出状況

伐採区	面積	伐採前の林況		根伐区併残数				
		樹種	本数	材種	樹種	本数	材種	
列状併採区	0.27	広	1	12	4.58		4	
(2 伐区)		広	2	889	62.51			
		計		901	170.9			
列状併残区	0.22	サ	2	2	1.30			
併採区		広	1	10	4.16			
(4 伐区)		広	2	717	48.98			
		計		729	54.44			
	0.50	イ	1	1	1.56			
器伐区		サ	3	1	0.41			
		広	1	20	9.13			
(6 伐区)		広	2	1,645	128.98			
		計		1,667	139.88			
	0.52	イ	1	3	2.68	サ	2	
根伐区		イ	1	1	0.74	サ	17	
		広	1	9	5.64			
(7 伐区)		広	2	115	81.39	広	2	854
		計		128	90.45	計		873

表-1の樹種区分は、能本を材用材、材用材区、材用材区で用材についての  
みで区分され、低質材については、区1、区2に区分されているので計

算については不明。なお、保存係数数は、本数、胸高直径、  
のみの調査で、樹高の調査が行われていないため、昭和62年

に保存係数と胸高直径、樹高、材積調査を行い、確  
認する予定である。

(2) 搬出状況調査

列状伐採区(2、4区) 高伐区(6区)については、材積計測  
133m/段採取0m下げ、2段目採取38m下げ、採取

区(7区)は、材積計測 80m/段目採取0m 2段目採  
取り13m下げ、区別は273m 区別257mで実行した。

なお、調査時に、保存係数調査は、調査区に、材積計測  
区となり実行中である。

# 試験経過記録

区分 自主

大根石 管林署

(様式4)〜1

## 課題

広葉樹天然林施業法

### 1. 試験地の設定

ア 61年7月 定員内5名 基職6名 計11名により 区域踏査・測量 地上立木の毎木調査を実施、試験地を設定した。

イ. 試験地の立木販売. 61年11月25日 立木販売

ウ 試験地内の立木伐採、搬出方法について、買受(太陽素生協)と打合せ 設計図により 試験内容 実施方法等 について 実行方協力依頼。特に、採伐場所の伐倒 搬出に当っては 保残木に被害を与えないよう指示。

### 2. 伐採搬出状況調査

ア 辺塚担当区主任に対して 研究発表を義務づけ 現地の伐採搬出の指導に当らせる。

# 技術開発ヶ所案内図 (略図)

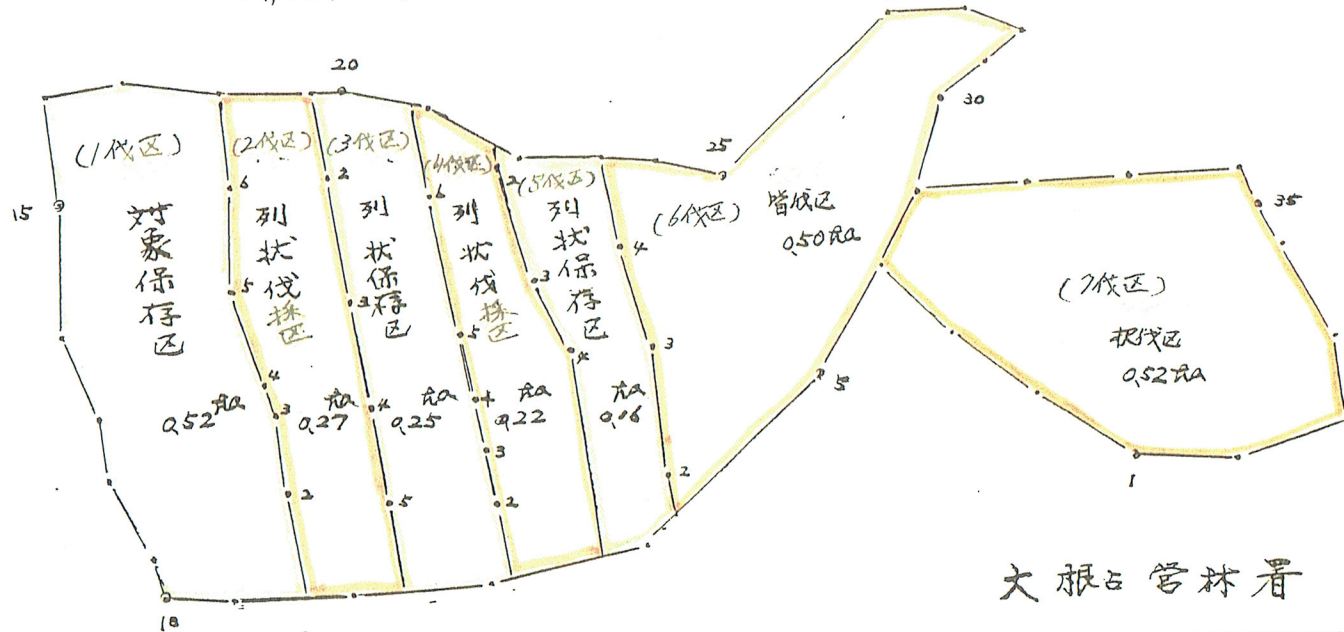
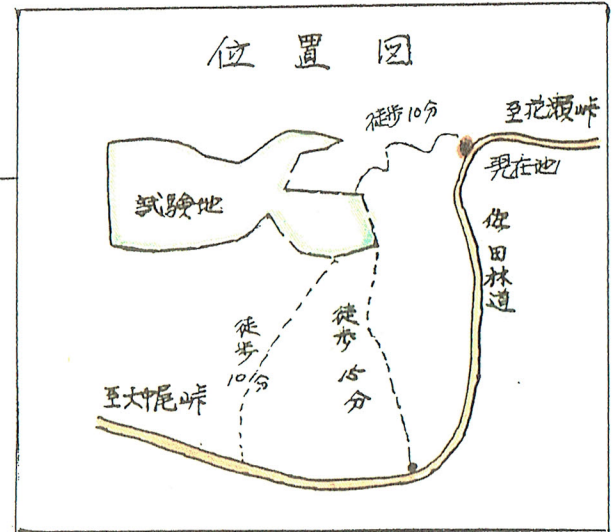
題名 広葉樹天然林(タブコジイ等) 施業

位置 字洞河原国有林 112区林小班

面積 2.44 ha

設定年度 昭和61年度

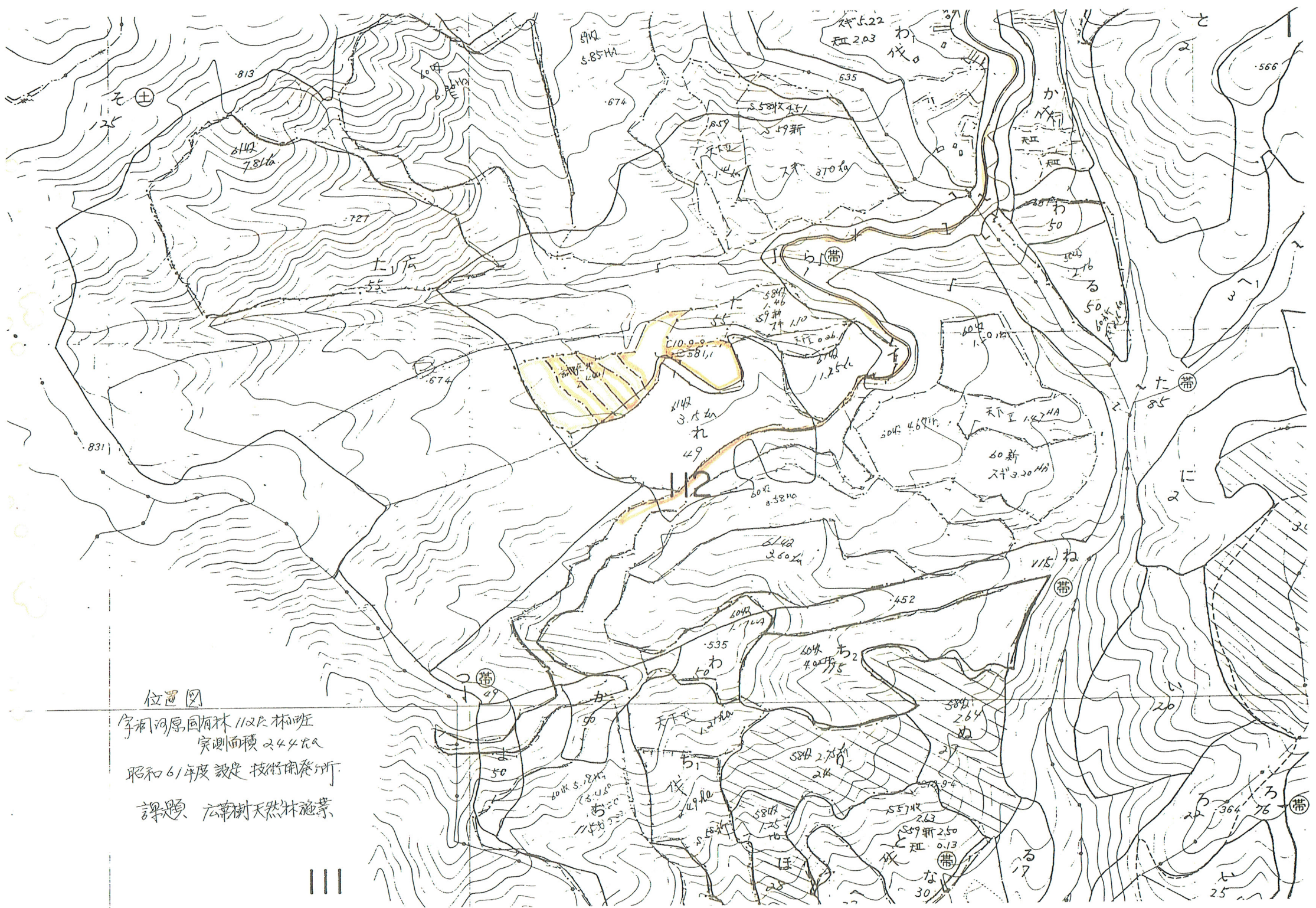
設定目的 伐採方法と有用樹の育成方法を  
研究するもの



大根と管林着

- (注) 択伐区の設定
- (1) 一定の胸高径級以下の立木は全部残す (22cm以下)
  - (2) 一定の胸高径級以上のものでも有用樹(タブコジイ等)となるものは40cm程度までのものを更に残す。





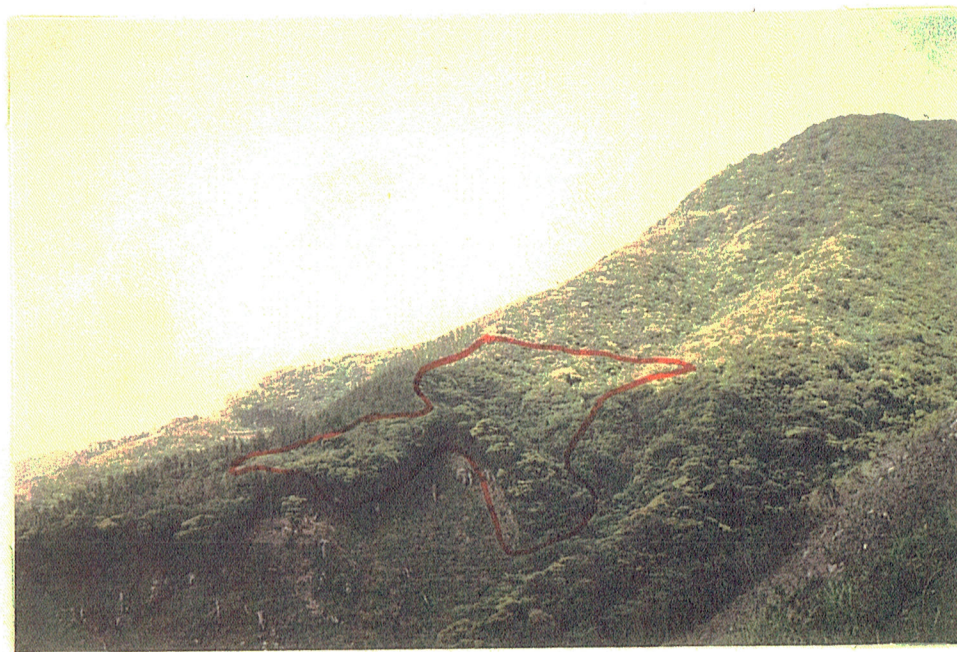
位置図

宇都河原園有林 112区 林班  
 実測面積 244a  
 昭和61年度 認定 技術用 発着  
 課題 広葉樹天然林 施業





案内図



試験林(技術開発所)遠景

伐採前(設定時)





伐採後の状態

列状伐区



列状伐区